

九州山地神楽祭り



- ① 高畑阿蘇神社神楽
- ② 白石神楽の若き舞子4人
- ③ 初出演の古戸野神楽
- ④ 高千穂の夜神楽
- ⑤ 仁瀬本神社神楽
- ⑥ 中江岩戸神楽

※彫り物(えりもん) …半紙に十二支や松の木などを切り抜いた飾り

1月27日、今年で16回目となる「九州山地神楽祭り」が蘇陽支所営農大ホールで開催されました。

今年は、本町から仁瀬本神社神楽、高畑阿蘇神社神楽、白石神楽の3団体と、阿蘇市波野の中江岩戸神楽、宮崎県高千穂町の高千穂の夜神楽、そして今年初出演の宮崎県五ヶ瀬町の古戸野神楽、計6団体と、大阿蘇蘇陽太鼓「喜楽」の演奏がありました。

舞台には、仁瀬本神社神楽の方が作られた、「彫り物(えりもん)」が飾られ、厳かな雰囲気の中、力強い太鼓の音や神の降臨を誘うとされている鈴の音とともに舞が披露されました。

アメリカ出身で現在、山鹿市在住のアランさんは、自分で着付けた着物で来場され、「初めて神楽を観ました。とても興味深く面白かったです。」と感動された様子でした。

当日は約170名の来場者があり、そのうち約120名が町外からでした。

育てた大根おいしかったよ！(中島小1～3年生)

1月23日、中島小学校の1年・2年・3年生の児童19名が大根掘りを行いました。教室の前の花壇に植えて、水やりをしながら成長を見守ってきました。子供たちは、「どれが大きいかなー？」と言いながら楽しそうに大根を抜いていました。

大根掘りをしたあとは、当日午前中に2年生・3年生があらかじめ大根掘りから切る作業までして作ったおでんをみんなで食べ、冷えた体を温めていました。自分たちで種から育てた大根を食べた子供たちは、「甘くておいしいー」「これオレが切った大根だ！」とおしゃべりしながら、楽しく食べていました。

「雪が積もって寒かったのに、大きくなっていてビックリした」「みんなで大根をみんなまで食べて、大根をみんなで食べれたってうれしかった。など一人ひとり、感想を発表しました。



なかよし会 浜美荘訪問

1月10日、「なかよし会」が浜美荘を訪問されました。「なかよし会」は10年以上前から高齢者施設を中心に訪問し、歌や踊りを披露されています。美しく艶やかな踊りや、力のこもった歌の披露に、入所者の方々は手拍子をしながらい入っていました。

なかよし会の皆さんから元気をもらった入所者の方々は「いただいた元気で、1年健康に過ごします。」と話されていました。



浜美荘もちつき

12月26日、「十二志会」の有志の皆さんの協力でもちつきが行われました。昭和50年に浜美荘が現在の場所に移ってきた時から始まり、今年で42回目となります。

園庭にもちつきの「ペタン、ペタン」という音が響きわたると、入所者の方々も杵を手に、もちをついたり、つきあがったもちを丸めたりと若い頃を思い出しながら、もちつきを楽しまれています。

つきたてのモチは、その日のおやつに振る舞われました。皆さんがおいしそうに食べている様子を見ながら、十二志会の皆さんも42年間に思いをはせられました。

